

## 国主導で事業推進を

足立参院議員、国交委で  
空港整備の必要性主張

自民党の足立敏之参院議員は3日の参院国土交通委員会ですべての質問に立ち、都市の国際競争力強化に向けて空港の整備水準を引き上げる必要性を訴えた。写真。足立氏は成田空港を韓国・仁川空港と比較し、滑走路の本数や延長で立ち遅れている現状を示した上で「世界では空港拡張プロジェクトがめじろ押しだ。世界に負けないよう国が主導して空

港整備を進める必要がある」と強調した。



赤羽一嘉国土交通相は空港の能力を把握するには、滑走路の整備状況だけでなく発着容量に着目することが重要と指摘。首都圏にある成田、羽田両空港の合計発着容量が韓国の仁川、金浦両空港を上回り世界トップクラスだと説明した。一方で「国際競争がさらに激しくなる中、首都圏の空港のさらなる機能強化は必要」との認識を示し、「空港、港湾を含めたインフラが成長戦略に重要だと位置付けながら、しっかりと取り組んでいく」と答弁した。

# 空港機能の拡充必要

## 参院委員会で足立議員



質問する足立議員

自民党の足立敏之参院議員は、3日の参院国土交通委員

会で日本の国際競争力強化の観点から空港の機能拡充を訴えた。

足立議員は、滑走路の増設が進む仁川国際空港（韓国）の整備状況などに触れながら、「諸外国の空港と比較して遅れをとっているわが国の空港

の現状をみると、世界に負けないよう国が主導して空港を整備する必要がある」と強調した。

答弁に立った赤羽一嘉国土交通相は、「空港の能力を比較する場合、滑走路の本数や延長は重要なファンダメンタルだが、管制処理上の制約を考慮すると（滑走路増設が）必ずしも航空機の発着数につながるわけではない」とし、同一都市圏域での「発着容量

に着目することも重要」と説明した。

その上で成田、羽田の両空港を合わせて「年間の発着容量は約83万回で世界トップクラス」と紹介した。ただ、「国際競争力が激しくなる中でさらなる機能強化が求められる」との認識を示し、港湾などを含むインフラ整備を「国としての成長戦略に位置付け、しっかり進めていきたい」と述べた。

# 建通新聞

足立議員

## 観光再開見据え 空港整備推進を

3日に開かれた参議院国土交通委員会で足立敏之議員「写真」は、コロナ禍収束後の国際的な観光再開を見据え、空港整備を進めておく必要があるとの考えを示すとともに、国としての今後の対応を質問した。

足立議員は、コロナ禍の収束後、世界的に人の



往來が再開し、各国間や都市間で観光客の取り合

いが起こることを想定。離島便を含めた航空ネットワークの確保や、成田国際空港の滑走路増設などさらなる空港機能の強化が必要ではないかとして

和田浩一航空局長は、「観光目的での往來再開にはしばらく時間がかかる」との見通しを示した上で、「観光需要の回復を実現していく上で、航空ネットワークは必要不可欠。1200億円の規模での着陸料などの空港使用料や航空機燃料税の減免を行い、航空ネットワークの維持確保に向けて」と

「とって取り組んでいく」と答えた。

空港機能の強化について赤羽一嘉国交相は、「空港の能力は滑走路とその長さだけでなく、発着容量にも着目すべきだ。韓国の仁川空港と比べると成田は滑走路本数、延長で劣っているが、羽田と合わせた首都圏の年間発着容量は83万回と世界でもトップクラス（仁川近郊は56万回）」と回答。その上で「とは言え、観光再開に向けてはさらなる空港の機能強化が必要だ。成田では滑走路の新設事業も進んでいる。港湾施設を含め、インフラ整備は国の成長戦略にとって重要な位置付けとなる」とした。

国と航空会社が一体とな

た。

令和3年6月4日（金曜日）

## 【参議院国交委】足立敏之議員「国が主導し空港整備を」

足立敏之参議院議員（自民党）は3日の参院国土交通委員会で、日本の空港の整備水準に対する国土交通省の見解について質問した。足立議員は、アジア諸国で空港の拡張工事がめじろ押しとなる中で「諸外国と比較して遅れを取っているわが国の空港の現状を見ると、世界に負けないよう国が主導して、しっかりと空港整備を進める必要がある」と強調した。これに対し赤羽一嘉大臣は、滑走路を増やしても「必ずしも離着陸の発着数につながるわけではない」とした上で「発着容量に着目することが重要。首都圏で言えば、羽田と成田を合わせた年間の発着容量は世界のトップクラス」と説明。ただし「これから国際競争がさらに激しくなる中で、首都圏空港のさらなる機能強化は必要だと考えている。成田空港の滑走路新設事業を着実に進めたい」との考えを示した。



質問する足立議員

